

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	児童クラブ設置運営事業	会計	一般会計	事業No.	711	施策順No.	37-029
		事業種別	政策・重点	予算科目	3-2-7-11-2		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	学校教育課		
施策	37 子どもを産み育てやすい環境の充実			事業期間	開始	S45	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	放課後家庭に保護者のいない低学年児及びその保護者						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		放課後留守家庭の小学校低学年児童数	746	791	778	676	684	
	意図	放課後留守家庭児童の安心して過ごせる場所の確保 保護者が安心して働けるようにする						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	市の運営する児童クラブ利用児童数/申込者数(%)	96	97.7	97.8	98	99	99	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	待機児童を早期に解消し、子育て支援に寄与した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	1 放課後留守家庭のいわゆる「鍵っ子」の居場所づくりをし、家庭に代わって児童の健全育成を行う 2 平成20年度から民間の社会福祉法人の運営する児童クラブ(丸山小学校区)に委託実施した		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 児童クラブ(15カ所)の運営 (1)定員70名を越える大規模児童クラブ分散化により次の3つのクラブを新たに設置し運営 ①松尾第2児童クラブ ②松尾第3児童クラブ ③伊賀良第2児童クラブ 2 平成23年4月から伊賀良第2クラブとして使用を開始する新施設を建設 (1)事務及び備品等の準備を進める。	児童クラブ設置数 登録児童数 児童厚生員の数	15カ所 454人 30人
23年度実施計画	1 児童クラブ(15カ所)の運営 (1)放課後留守家庭の児童の受入 2 巡回指導員の配置 (1)児童クラブ運営に係る標準化を図るための巡回職員配置	児童クラブ設置数 登録児童数 児童厚生員の数	15カ所 501人 31人

3 事業コスト

事業費		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 児童健全育成事業補助金 30,158千円(国1/3、県1/3)、地域福祉総合助成金 150千円(県1/2)、太陽光発電収入 385千円、安心こども基金事業補助金(AED設置事業) 843千円(県10/10)、放課後児童環境改善事業補助金 597千円(国1/3、県1/3)、地域活性化・経済危機対策臨時交付金(21→22繰越明許) 18,984千円
	特定財源	国庫支出金	18,984	18,984		
		県支出金	30,558	31,748	28,269	
		起債				
		その他	10	385	450	
	一般財源		32,127	26,874	38,906	
	計(A)	81,679	77,991	67,625		
	正規職員所要時間		320			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		1,144			
	トータルコスト A+B		79,135			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・議会から小学校単位に設置の要望がある。(千代地区は民間が運営) ・保護者から障害のある児童であっても同様に受け入れてほしいという希望がある。現在必要に応じて児童厚生員を加配し、障害のある児童の受け入れもしている。 ・事業対象は低学年となっているが、高学年までに対象を広げてほしいという希望がある。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標	子どもを育てやすい社会環境であると感じている対象者の割合 児童館・児童クラブの受け入れ可能数(人)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	・子育て世代が産み育てやすい社会環境が整う。	
	後期に向けた課題	・国の動向と保護者ニーズを見ながら、子育て支援サービスが継続して提供できるように対応する。	
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・大規模児童クラブの分割。登録児童数の多い学区へ児童クラブの新規開設。老朽化した施設の改修。定員の範囲内での小学校高学年の受け入れもを行っている。	
	後期に向けた課題	児童クラブ職員への指導強化(巡回指導員の配置)	
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	・事業費のほとんどが児童厚生員の人件費であるため、コスト削減できない。	
	後期に向けた課題	・事業が継続できるように現状維持に努める。	
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	・子育て支援は市の重点施策であり、市の関与が必要である。受益者負担の程度も現状では適切である。	
	後期に向けた課題	・他市の動向により、市の関与及び受益者負担の程度について、検討する。	
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①主体は飯田市で、運営委員会とともに児童クラブ円滑に運営し、役割を果たした。	
	後期に向けた課題	・実施主体の役割についてよりよい形になるように検討する。	
全体を通じて	4年間の振り返り	・児童数の減少、不景気により登録児童が減少傾向にある。	
	後期に向けた課題	・保護者から閉館時間延長、長期休暇だけの利用、アレルギー対応などの要望への対応について検討する。	

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------